



病後児保育だより

聖隷こども園わかば

2023年12月号

今年も残すところ一か月となりました。クリスマス、年末年始と忙しくなりますが、子どもたちはとても楽しみにしていますね。感染症が流行する季節となりますので、うがい・手洗いをしっかり行い病気の予防に努めましょう。また、病気に負けないからだを作るためにも、十分な睡眠をとり、規則正しい生活を身につけましょう。

新型コロナウイルス・インフルエンザ 経過観察報告書 記入する時の注意点

- ・受診して診断を受けた時、「症状が出た日」と「診断を受けた日」を記入する。
「症状が出た日」は医療機関に確認する。
- ・平熱を記入する。
- ・症状が出た日を「発症0日目」として、報告書のグラフに朝夕の体温を記入し、折れ線グラフを作成する。
- ・解熱した日または症状軽快した日の「日付」に○を記載。**インフルエンザの場合「朝夕ともに37.5℃未満」になった日を「解熱日」として、その翌日から「解熱後1日」と数えます。「解熱後3日」経った翌日が「登園可能な日」になります。**はっきりわからない場合は園にご相談ください。



その熱はインフルエンザですか？

今年のインフルエンザの流行拡大は例年に比べ早いと言われています。季節性のインフルエンザの流行が例年11月後半から始まりますが、今年は夏の間から出現しはじめそのまま流行の本番となってしまいました。また、高熱が出たので「インフルエンザかな」と思ったら、溶連菌だったという場合や「熱が長引く」と思ったら「中耳炎にかかっていた」という場合があります。

	感染症名	症状
主な感染症の特徴	インフルエンザ	突然の高熱、関節痛 筋肉痛などの全身症状
	新型コロナウイルス	発熱、長引く咳 鼻水、息苦しさ
	プール熱 (咽頭結膜熱)	数日以上の高熱 のどの痛み、目の充血
	溶連菌感染症	高熱、イチゴ状の舌 のどの痛み

インフルエンザもA型・B型だけでなく、A型の中にもH1N1型、H3N2型など種類があるので、「先日インフルAになってしまったが、またかかってしまった」ということもあります。

溶連菌感染症

登園停止ではありませんが、感染力の強い病気です。左記の熱、イチゴ舌の他に手足に小さい発疹が出たりします。咳や鼻水などの症状が出ないことが特徴です。処方された抗菌薬を飲み切ることが大切です。途中でやめると菌はまた増殖してしまいます。

インフルエンザの合併症 中耳炎

熱が長引いている場合は中耳炎を疑ってみましょう。子どもは大人に比べ耳管が太くて短く、水平なので鼻やのどの細菌やウイルスが鼓膜を通過して中耳にいき、炎症を起こしやすいのです。全身や粘膜の抵抗力の低いことも原因です。